



●食いが立てばクロムツの多点掛けも



▲クロムツは明るくなるまでがチャンスタイム



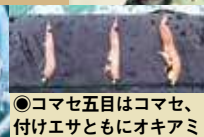
★キダイの一荷にホウボウで3本バリ仕掛けにパーフェクト



▲イサキのアバレージは30〜35センチ前後



▲クロムツは25〜30センチ前後が主体
▼キダイのトリプルに大満足



●コマセ五目はコマセ、付けエサともにオキアミ

コマセ&付けエサ &仕掛け

- ①クロムツ用はフラッシャーサビキ7本バリ、オモリ150号
- ②コマセ五目はハリス2号3本バリのイサキ仕掛け、コマセカゴはFLサイズ、オモリ60号
- ③根魚は鯛つき2本バリ、オモリ60号



▲当日は沖揚がり直前に根周りで根魚を狙いカサゴをキャッチ



▶サバの切り身エサでアカハタが釣れた

南房の人気メニュー一つがフラッシャーサビキで狙うクロムツ(ムツ)とコマセやサバの切り身などで色いろな魚を釣って楽しむ五目のリレー船だ。取材した南房江見港の新栄丸では朝にクロムツを狙い、明るくなつてから五目釣りへ転じるスタイルで出船中。クロムツは鴨川沖の水深100〜130メートル前後で25〜30センチ前後が10〜15尾ほど釣れている。

後半の五目釣りは江見沖の水深25〜75メートル前後を狙いイサキ、キダイ、ホウボウ、カサゴ、アカハタなどが顔を出し、クーラーにはぎやかに。アフターフィッシングは釣った魚で多彩な料理を味わってみてはいかが。(詳細は50ページ参照)

南房江見港出船 魚種多彩で多点掛けも堪能 南房のクロムツ&五目リレー

撮影・本誌編集部



▲コマセ五目のタナ取りは底から。当日は底から8メートル上までの範囲を探った



●南房江見港・新栄丸 武ノ内 一浩船長